

顎矯正手術の新たな高みへ～機能・審美追求とTMJ精密評価に基づく先進アプローチ～

2025年7月18日

※本コンテンツは、医師の方を対象とし、当医療機関についての理解を深めていただけるよう作成しているものであり、一般の方を対象とする宣伝・広告等を目的としたものではありません。

横浜労災病院 口腔内科部長の高橋 康輔（たかはし こうすけ）と申します。今回は、当院で注力している「顎矯正手術（外科的矯正治療）」の概要と、当科が取り組む「顎関節と顎変形症の関連研究」についてご紹介いたします。



高橋 康輔
口腔内科 部長

顎矯正手術：機能と審美の向上でQOLを高める顎変形症治療

顎矯正手術は、上顎・下顎の位置や大きさに骨格的な不調和がある「顎変形症」患者に対して行われる外科的治療です。歯列矯正のみでは治療が困難な重度の不正咬合に対し、外科的に顎骨の位置を整えることで、**かみ合わせの改善だけでなく、咀嚼・嚥下・発音などの機能障害の改善も目的**としています。

また、骨格的な不調和による顔貌の非対称や輪郭の改善など、**審美面におけるQOLの向上も得られる治療**です。

年間100例の実績を誇る、術前・術後まで一貫した当院の治療体制

当院では、顎矯正手術を年間約100例程度実施しており、手術はすべて全身麻酔下で行います。矯正歯科との連携のもと、**術前から術後まで一貫した治療体制を整えて**おります。

症例紹介：顎矯正手術の効果と改善事例

Case1：下顎前突症における咬合・横顔プロファイルの改善

著明な下顎突出と反対咬合を認めた症例。術前後で咬合の改善に加え、横顔のプロファイルにも大きな変化が得られました。

術前



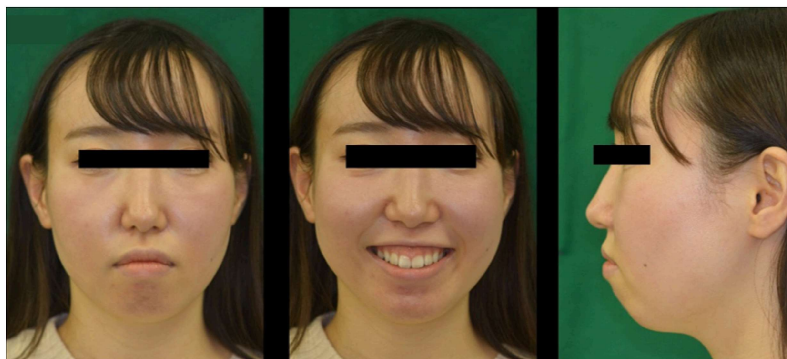
術後



Case2: 下顎後退症における咬合機能の回復と印象改善

顎が後方に位置していたことで、咬合不全と発音障害がみられた症例。笑う時に歯茎が見えすぎることも気にされていました。術後には咬合機能の回復とともに、見た目の印象も大きく改善しました。

術前



術後



生活機能再建を重視した当科のアプローチ

このように、当科では「かむ」「話す」「飲み込む」といった生活機能の再建を重視し、個々の症例に応じた精緻な術前計画をもとに手術を行っています。

顎矯正手術の成果を最大化する：顎関節(TMJ)精密評価の重要性

TMDと構造異常が術後不安定化を引き起こす主要因

顎矯正手術の成功と長期安定性において、顎関節(TMJ)の状態を無視することはできません。

とくに下顎後退症の患者では、術前から顎関節症(TMD)を有する割合が非常に高く、40.8～97%に達するという報告もあります。中でも前方円板転位(anterior disc displacement, ADD)や関節円板穿孔(disc perforation)といった**関節構造異常は、術後の咬合不安定や顎関節症状の再発・増悪に直結する可能性**が指摘されています。

不可逆的な変性を防ぐため、TMJ術前評価を徹底

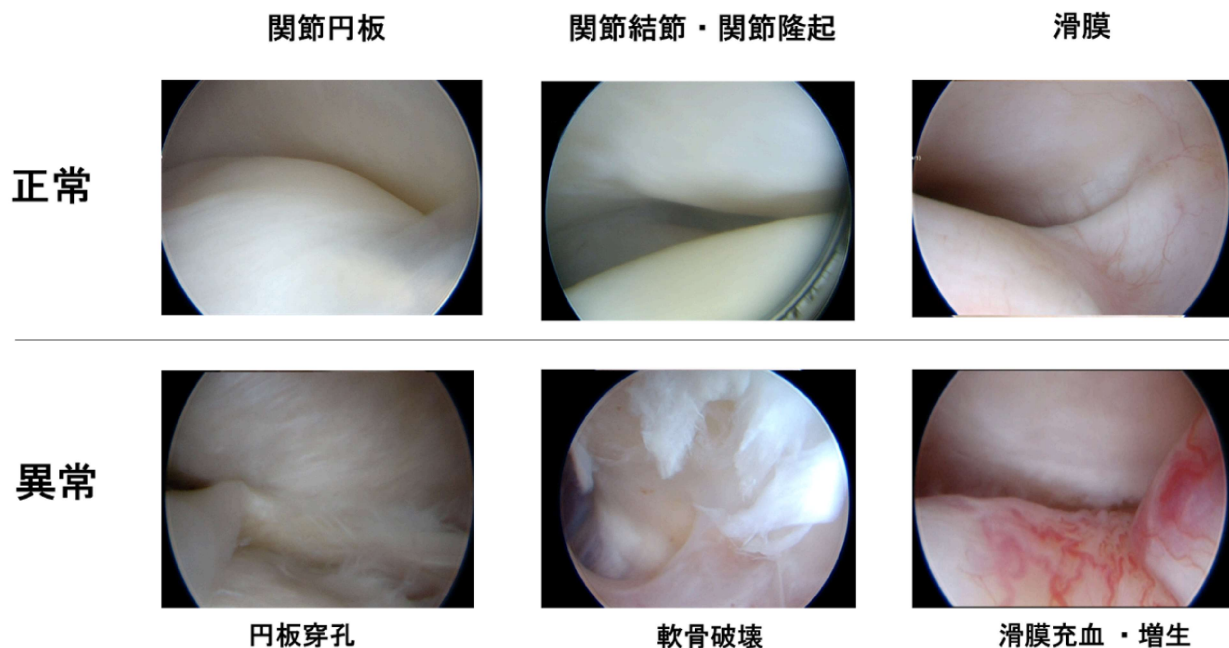
円板穿孔が存在すると、関節頭が関節窩に接近することで接触面に過剰なストレスがかかり、変形性関節症(OA)などの退行性変化をきたすリスクが高まります。一度変性が始まった顎関節が自然に回復することは極めて困難であるため、**術前から顎関節の状態を正確に評価することが重要です**。

顎関節温存を追求する精密診断と治療戦略

MRIと関節鏡による、標準化された顎関節術前スクリーニング

横浜労災病院口腔外科では、顎関節のMRI評価を含めた術前スクリーニングを標準化しており、顎関節の状態に応じて術式や術後管理を柔軟に設計しています。加えて、より詳細な関節内情報が必要な場合には、関節鏡検査(arthroscopy)も適宜実施し、関節円板や滑膜の状態を直視的に確認しています。

関節鏡における上関節腔の評価



顎関節を考慮した精密な治療計画

これにより、顎関節の状態を評価した上で治療計画を立案し、術後の顎関節症状悪化リスクを最小限に抑えることが可能だと考えています。

臨床研究推進による治療の科学的根拠と予後予測の確立

さらに当科では、顎関節の構造異常と顎矯正手術の術後経過との関連性に関する臨床研究にも積極的に取り組んでいます。術前MRIおよび関節鏡所見、術中の下顎位変化、術後咬合の安定性、そして顎関節症状の推移を総合的に解析し、**科学的根拠に基づく予後予測指標の構築**を目指しています。

全国有数の実績：機能と美しさを追求する当院の専門治療

横浜労災病院 口腔外科は、顎変形症に対する外科的矯正治療の実績と、顎関節を重視した診療体制を併せ持つ、全国的にも数少ない専門施設の一つです。年間約100例の症例に対応しながら、常に「機能」と「美しさ」の両立を追求し、患者一人ひとりに最適な治療を提供しています。

お気軽にご紹介ください

顎変形症や外科矯正治療の適応が疑われる患者さんがいらっしゃいましたら、どうぞお気軽に当科へご紹介ください。



高橋 康輔(たかはし こうすけ)

口腔内科 部長

■卒業年次

平成20年

■専門分野

口腔外科全般・再生医療、顎関節症、顎変形症

■学会専門医・認定医

歯学博士

日本口腔外科学会専門医・指導医

日本口腔科学会認定医・指導医

日本顎関節症学会専門医

日本歯周病学会認定医

歯科医師臨床研修指導医

日本職業・災害医学会指導医

お問い合わせ先



独立行政法人 労働者健康安全機構 横浜労災病院 地域医療連携室

TEL:045-474-8111 平日 8時15分～17時00分

FAX:045-474-8323

ホームページ:<https://yokohamah.johas.go.jp>